

助成金(様式8)

成果報告書

2023年 4月 10日

一般財団法人 乃村文化財団 理事長 渡辺 勝 様

貴財団の助成金事業についてご報告します。

該当する助成の種類にチェック	研究助成	✓	教育普及活動助成
フリガナ	フクオカシカガクカン		
研究室名 学会・博物館名	福岡市科学館		
フリガナ	ヤハラ テツカズ		職名
代表者名	矢原 徹一		館長
フリガナ	ノミ リエ		職名
担当者名	野上 理恵		管理運営責任者
所在地	福岡市中央区六本松4-2-1		
対象となる研究および教育普及活動の概要	【テーマ】 福岡市科学館基本展示室クリエイティブアワード事業およびキッズクルー事業		
	【目的】 「クリエイティブアワード」は体験型展示のアイデアコンテストで、製作ワークショップを通じて、応募者が好奇心・考える力・創造性を発揮してアイデアを提案することを目的とした事業である。今回、福岡市科学館キッズクルー事業の活動と連携させ、体験型展示のテーマ決定や審査に子供たちを参画してもらい、子供の視点を展示事業に反映させた。またキッズクルー事業の一環として、子供目線で展示を紹介しパンフレットを作る広報活動への子供参画事業も行った。		
	【実施体制】 福岡市科学館サイエンスコミュニケーターチームのスタッフを中心に推進コアを設置し、小学校3年生のキッズクルー3名、科学関係・展示関係分野の大学研究者と、キッズクルー事業、アワード運営事業を行った。アワード受賞作品決定後は、推進コアに受賞者と展示制作外部協力者を加え、アワード制作展示チームを構成して展示検討を行った。		
	【実施方法】 キッズクルー事業では月2回の活動日に、スタッフと交流しながらクリエイティブアワード運営事業のテーマ選定、審査、審査のための学習の一環として、サイエンスショーの評価と参加を行った。審査終了後は、審査員の経験を活かし、基本展示室の調査と展示評価、他館の調査等を行い、「こどものためのパンフレット」を制作した。アワード製作ワークショップは、2023年10月完成を目指して実施中。		
	【成果と社会的効果】 キッズクルー事業では、多様な職業体験を通し、子供たちの目的意識や自己実現方法の獲得に貢献した。キッズクルー事業の成果として、「こどものためのパンフレット」が完成した。クリエイティブアワード事業の成果としては、参加者の好奇心・考える力・創造性を醸成することができた。参加型の展示更新事業であるクリエイティブアワードを実施することにより、公共施設への新しい参画の形を来館者に伝え、科学館および科学への好奇心を喚起することが出来た。		
共同研究者等の有無	なし・あり(人数 名) ※共同の研究者等の氏名(学年・現職等)記入		
助成金額	50 万円 ※万円単位の整数で記入	主な使途 展示映像制作費、印刷費等	
本研究に関する他の助成金受給の有無	なし・あり ※助成先を記入		

研究室名 学会・博物館名	福岡市科学館
テーマ	福岡市科学館基本展示室クリエイティブアワード事業およびキッズクルー事業

【目的】 ※400字程度とし、できれば図版等も活用してわかりやすく表現してください。

「クリエイティブアワード」は体験型展示のアイデアコンテストで、製作ワークショップを通じて、応募者が好奇心・考える力・創造性を発揮してアイデアを提案することを目的とした事業である。今回、福岡市科学館キッズクルー事業の活動と連携させ、体験型展示のテーマ決定や審査に子供たちを参画してもらい、子供の視点を展示事業に反映させた。またキッズクルー事業の一環として、子供目線で展示を紹介しパンフレットを作る広報活動への子供参画事業も行った。画像はアワード募集パンフ（左、イラスト原案はキッズクルー）、子供向けパンフ（右、キッズクルーが制作）



【実施体制】 ※400字程度とし、できれば図版等も活用してわかりやすく表現してください。

福岡市科学館サイエンスコミュニケーターチームのスタッフを中心に推進コアを設置した。キッズクルー事業とアワード運営事業では小学校3年生（2021年度募集開始時、現在は5年生）のキッズクルー3名と、科学関係・展示関係分野の大学研究者がチームに加わった。アワード展示制作事業では、アワード受賞作品決定後、推進コアに受賞者と展示制作外部協力者を加え、アワード制作展示チームを構成して展示検討を開始し、現在完成に向けて製作を実施中である。

キッズクルー事業	アワード運営事業	アワード展示制作事業																																				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>推進責任者</td> <td>推進コア</td> </tr> <tr> <td>上田 恭子</td> <td>林 千恵</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー</td> <td>河田 萌音</td> </tr> <tr> <td>脇山真治先生</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キッズクルー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安部友貴さん 福田湊さん 宮路一愛さん</td> <td></td> </tr> </table>	推進責任者	推進コア	上田 恭子	林 千恵	アドバイザー	河田 萌音	脇山真治先生		キッズクルー		安部友貴さん 福田湊さん 宮路一愛さん		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>推進責任者</td> <td>推進コア</td> </tr> <tr> <td>上田 恭子</td> <td>林 千恵</td> </tr> <tr> <td>審査委員長</td> <td>河田 萌音</td> </tr> <tr> <td>脇山真治先生</td> <td></td> </tr> <tr> <td>審査員</td> <td>キッズ審査員</td> </tr> <tr> <td>矢原館長 清須美先生 大富氏</td> <td>安部友貴さん 福田湊さん 宮路一愛さん</td> </tr> </table>	推進責任者	推進コア	上田 恭子	林 千恵	審査委員長	河田 萌音	脇山真治先生		審査員	キッズ審査員	矢原館長 清須美先生 大富氏	安部友貴さん 福田湊さん 宮路一愛さん	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>展示制作責任者</td> <td>推進コア</td> </tr> <tr> <td>高山 裕明</td> <td>林 千恵</td> </tr> <tr> <td>技術アドバイザー</td> <td>河田 萌音</td> </tr> <tr> <td>オフィス長江</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受賞者</td> <td>キッズクルー</td> </tr> <tr> <td>太楽充羽さん 衛藤司さん 石原桃香さん</td> <td>安部友貴さん 福田湊さん 宮路一愛さん</td> </tr> </table>	展示制作責任者	推進コア	高山 裕明	林 千恵	技術アドバイザー	河田 萌音	オフィス長江		受賞者	キッズクルー	太楽充羽さん 衛藤司さん 石原桃香さん	安部友貴さん 福田湊さん 宮路一愛さん
推進責任者	推進コア																																					
上田 恭子	林 千恵																																					
アドバイザー	河田 萌音																																					
脇山真治先生																																						
キッズクルー																																						
安部友貴さん 福田湊さん 宮路一愛さん																																						
推進責任者	推進コア																																					
上田 恭子	林 千恵																																					
審査委員長	河田 萌音																																					
脇山真治先生																																						
審査員	キッズ審査員																																					
矢原館長 清須美先生 大富氏	安部友貴さん 福田湊さん 宮路一愛さん																																					
展示制作責任者	推進コア																																					
高山 裕明	林 千恵																																					
技術アドバイザー	河田 萌音																																					
オフィス長江																																						
受賞者	キッズクルー																																					
太楽充羽さん 衛藤司さん 石原桃香さん	安部友貴さん 福田湊さん 宮路一愛さん																																					

【実施方法】 ※400字程度とし、できれば図版等も活用してわかりやすく表現してください。

キッズクルー事業では月2回の活動日を設け、スタッフ・アドバイザーと交流しながら各種参画事業を行った。クリエイティブアワード運営事業は、まずテーマ選定を行った。アワードの目的・趣旨をレクチャーを通して学んだ。「未知なる旅へ、驚きの乗り物」というテーマ決定に際し、自分たちが参加者となって、アイデア提案も試行した。その際に出された乗り物のアイデアは、デザイナーがブラッシュアップしパンフレットに使用した。審査員として審査に参加するため、審査についてもレクチャーを受け、学習の一環としてサイエンスショーの見学と評価を行った後、演者側の立場を理解できるようにショーの練習をし、出演した。出演後は自己評価も行った。

審査終了後は、審査員の経験を活かし、基本展示室の調査と展示評価、他館の調査等を行い、「こどものためのパンフレット」を制作した。パンフレットの制作終了後、2023年10月展示完成を目指すアワード展示制作事業のワークショップに参加予定。

研究室名 学会・博物館名	福岡市科学館
テーマ	福岡市科学館基本展示室クリエイティブアワード事業およびキッズクルー事業

【研究・教育普及活動の成果】 ※ 1 枚以内とし、できれば図版等も活用してわかりやすく表現してください。

キッズクルー事業では、多様な職業体験を通し、子供たちの目的意識や自己実現方法の獲得に貢献した。当館は「人が育ち、未来をデザインしていく科学館」という理念を持つ。特に未来を創る人材には「課題解決能力」が必要と考え、図の項目を鍛え、非認知能力を涵養する様々なプログラムや事業を実施している。このキッズクルー事業も、体験型展示の公募テーマ決定、公募事業の審査、審査のためのサイエンスショー参加、パンフレットを作る広報活動への参画等、多様な経験・実践を積み重ねることが出来たが、これらの参画事業はキッズクルー参加者の非認知能力涵養に貢献し、成長につながったと考えられる。さらに事業の成果物として、「こどものためのパンフレット」が完成した。

クリエイティブアワード事業の成果として、アワードを実施し参加者にアイデアを考える場を提供することが出来たことで、参加者の好奇心・考える力・創造性を醸成することができた。市民参加型の展示更新事業であるクリエイティブアワードを実施することにより、公共施設への新しい参画の形を来館者に伝えることができたほか、科学館および科学への好奇心を喚起することが出来た。

アワード事業とキッズクルー事業と連携させ、公募テーマの提案や作品の審査に子供たちを参画させることで、子供の視点を展示事業に反映させることができた。またキッズクルー事業の一環として、子供目線で展示を紹介しパンフレットを作る広報活動への子供参画事業も行った。



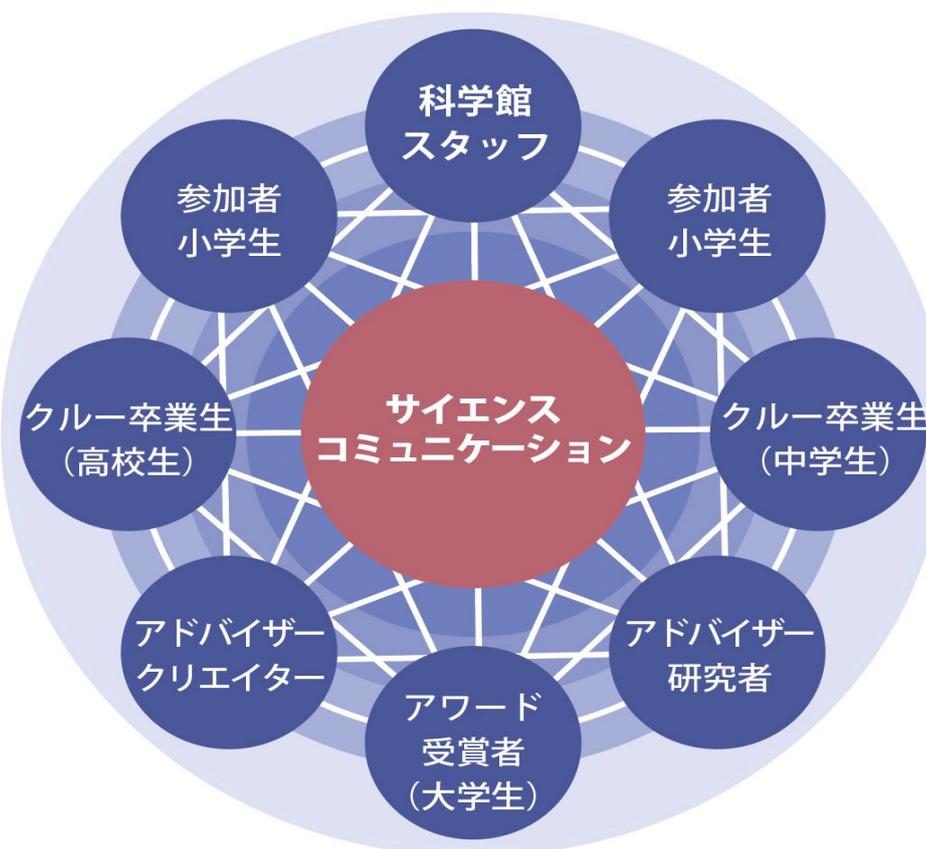
研究室名 学会・博物館名	福岡市科学館
テーマ	福岡市科学館基本展示室クリエイティブアワード事業およびキッズクルー事業

【今後の成果の活用と活動の展開について】 ※ 1枚以内とし、できれば図版等も活用してわかりやすく表現してください。

キッズクルー事業は今後も継続し、新たなメンバーを加えることで、より多くの子供たちの意見を科学館事業に反映させるとともに、現在のメンバーと新メンバーを交流させることで、教え合い効果による子供たちの成長を期待する。

キッズクルー事業とクリエイティブアワード事業の連携も継続的に実施する。2022年度受賞作品の展示開発ワークショップに参加してもらい、2023年10月完成に向けた展示更新に子供たちの意見を反映させる。また次回のクリエイティブアワードの公募テーマ決定や作品の審査にキッズクルーの新メンバーを参画させ、子供の視点を展示事業に反映させる。

クリエイティブアワードに参加する大学生・専門学生との交流に加え、今年卒業するメンバーにも継続的に参加機会を設けながら事業を継続することで、子供参画事業の参加者層を小学生から中学、高校へと拡大し、小中高大連携を目指し、世代間交流による対話や共同作業を通じて、参加者の非認知能力の強化を期待する。



福岡市科学館の、キッズクルー事業におけるサイエンスコミュニケーション概念図

キッズクルー参加者と科学館スタッフとの交流に加え、参加者同士や先輩となる卒業生、研究者(大学教授)、クリエイター、アワード参加者(大学生、専門学生、社会人)など多様な世代・立場同士の様々な交流が生まれることで、それぞれの学びが生まれ、成長へとつながる。福岡市科学館では多様な事業活動で世代間交流が生まれるサイエンスコミュニケーションを実践している。